

日本経済思想史研究

第24号

特集

2024.3 [令和6年3月]

日本経済思想史学会四〇周年

第三四回全国大会共通論題報告

「日本経済思想史研究の課題と展望——日本経済思想史学会
創立四〇周年を迎えて」

趣旨説明 日本経済思想史学会四〇年の歩み	南森茂太	1
報告1 日本経済思想史の課題と展望——近世職分論の視点から	中嶋英介	7
報告2 幕末から明治前半期の日本経済思想史研究について ——福沢諭吉を中心として	堀 和孝	10
報告3 大正デモクラットと経済思想——黎明会を中心に	武藤秀太郎	13
報告4 昭和期経済思想研究をめぐって——戦前・戦中・戦後	牧野邦昭	15
年表 四〇年のあゆみ——昭和五八年（一九八三）～ 令和四年（二〇二二）例会・大会記録	南森茂太	18

書評

藤本健太郎著『長崎偉人伝 松田源五郎』	杉山里枝	37
伊故海貴則著『明治維新と〈公議〉——議会・多数決・一致』	袁甲幸	40
向静静著『医学と儒学——近世東アジアの医の交流』	坂本慎一	43
松本和明編著『渋沢栄一がめざした「地域」の持続的成長 ——人的ネットワークと連携の推進』	四方田雅史	46
松本智也著『〈文事〉をめぐる日朝関係史 ——近世後期の通信使外交と対馬藩』	藤本健太郎	49
活動記録（大会記録・例会記録・日台国際学術交流会）		53
会誌『日本経済思想史研究』投稿規程／執筆要項		72
お知らせ		75
編集後記		75

日本経済思想史学会